

# 米国 2012年自動車信頼性ランキング 1位～7位は全て日本車

週刊新潮2013年3月21日号  
変見自在 高山正之  
日本は不滅

米有力消費者情報誌「コンシューマー・リポート」が公表した自動車ブランド別の年次ランキングによると、米自動車メーカー、フォード・モーターは数年前、信頼性評価でトップに上り詰める勢いだったが、今回は底へと転落した。実際、「フォード」ブランドは下から2番目となり、同社の高級ブランド「リンカーン」がこれに続いた。

一方、日本のブランドが、信頼性ランキング上位1～7位を総なめにした。「トヨタ」ブランド、およびトヨタの高級ブランド「レクサス」と小型車ブランド「サイオン」が上位3位を占めた。トヨタの小型ハイブリッド車「プリウスC」が全体評価ではトップとなった。



米消費者情報誌「コンシューマー・リポート」が30日までに発表した2012年自動車信頼性ランキングの全27ブランドのうち、上位7位をトヨタ自動車をはじめとする日本のブランドが占めた。

一方、フォード・モーターなど米大手のブランドは、いずれもベストテンからはずれ、米車の信頼性低下が浮き彫りとなった形だ。

調査は同誌読者が所有する計120万台を対象に実施された。  
調査結果によると、トヨタは上位3位を独占。

同社の「サイオン」が2年連続で首位を獲得したのに加え、2位に「トヨタ」、3位に高級ブランド「レクサス」がランクインした。

4位にはマツダ、

5位には富士重工業、

6位と7位にはホンダのブランドが、それぞれ入った。

独大手フォルクスワーゲン(VW)傘下的高级車ブランド「アウディ」は、前年から順位を大きく上げ8位に上昇。

日産自動車の「インフィニティ」は9位、

韓国の起亜自動車は10位だった。

フォード車は新たに採用した車載電子システムに問題が相次いだ影響で、大きく順位を下げた。

同社の「フォード」は7ランク、高級ラインの「リンカーン」は今年度ランキング中で最大下落となる12ランク、それぞれダウン。米国勢の最高は、ゼネラル・モーターズ(GM)の高級車ブランド「キャデラック」の11位だった。